



RI加盟承認  
1998年9月30日



WEEKLY  
No. 1035  
12/3  
[金]

本日のプログラム 12月3日 (金)

卓話：やすひレディースクリニック 院長 安日泰子さん  
『「生理の貧困」対策プロジェクト・ながさき』  
— シスターフッドの力 —

次回のプログラム 12月10日 (金)

新会員卓話：相田さん「自己紹介」

## 第1041回 例会

今年度 第13回例会 令和3年11月26日(金)  
会員数73名(出席免除1名) 欠席25名 出席率65.3%

■欠席者：原、藤岡、柿山、埴生、牧、福島、加藤、小西、塚本、藤本、相田、堤、山崎  
田村、有馬、嘉村、山中、田中(信)、熊上、光安、廣高、田中(宝)、西沢

■点鐘：佐伯会長

■Rotary Song：「手に手つないで」  
「友愛の旗」

■四つのテスト：高谷さん



■会長タイム：佐伯会長



皆さん、こんにちは。本日のビジターの方がお見えになっています。長崎大学経

済学部教授、須齊正幸さんです。須齊さんには後ほど「長崎におけるSTEAM教育事業について」と題して卓話を頂戴することとなっています。須齊さん、よろしくお願ひします。

さて来月からもう12月です。今年を振り返るといふ時期になりました。今年特に前半から中盤までやはりコロナ一色だったような気がします。その中でも色々ありましたけど、個人的には東京オリンピック、パラリンピック。いやあ、やはりアスリートの真剣なドラマは最高に面白かったですねえ。オリンピックは久しぶりに気持ちが高揚しました。ということで今日はオリンピックネタを少し調べましたので少し話をしようと思ひます。

まず、なぜオリンピックは4年に一回なのか？これは古代オリンピックが4年ごとに開かれていてこの4年単位の周期は「オリンピックアド」と呼ばれ、近代オリ

ンピックもこれに倣い、4年ごとの開催になっているようです。

昔たしか小中学生の頃に習ったような曖昧な記憶がありますが、オリンピックのシンボルマーク、あの5つの輪ですが、これはもちろん世界5大陸、アジア、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、オセアニアを表しているんですね。

そしてその色ですが、青、黄、赤、黒、緑の5色についてはクーベルタンがこう言っています。この色に白を加えると世界の国々の国旗がほとんど描けるからと。近代オリンピックの記念すべき第一回は1896年、125年前ですね、アテネでの開催で、参加国は14か国。今回の東京では205の国と地域となっています。日本が参加したのは1912年のストックホルム大会からで、この模様はNHKの大河ドラマ「いだてん」でやっていましたが、参加選手は三島弥彦とマラソンに出た金栗四三の二名ですね。その後1964年に東京でオリンピックが開催されることとなりますが、それを機に日本で普及するようになったのが、今回開会式のパフォーマンスでやっていましたが、「ピクトグラム」というものです。例えばトイレや非常口などを示す絵文字です。1964年以前の日本では街中の案内看板のほとんどが日本語表記だったため、海外からくる人たちが一目で意味がわかるようにという思いから誕生したそうです。さてあまり報道されていませんが、今回は環境に配慮した様々な取り組みがされています。金、銀、銅のメダルの素材はなんと使用済みの携帯電話やデジカメといった小型家電から集められたリサイクルの金属で作られているそう

です。聖火トーチには東日本大震災の仮設住宅のアルミ建築廃材を再利用したものが素材の一部として使われていますし、極め付きは選手村のベッドですねえ。このベッドフレームはなんと段ボールでできています。ついつい選手のパフォーマンスに注目が集まりがちですが、日本ならではの環境に配慮した「おもてなし」の取り組みが色々行われていたのだなあとあらためて感じ入った次第です。コロナがなかったらと思いますが、ある意味、歴史に残る大会になったのかもしれない。明日は出島メッセでの地区大会です。それでは本日の例会よろしくお願ひします。

#### ■幹事報告：吉村さん



#### ①地区大会の確認：

11月27日（土）出島メッセ長崎。  
点鐘は13時ですが、12：30～12：50ぐらいに受付までお越しいただき、幹事より名札を受け取る。その後、出島の席へ移動。

#### ②12/24年次総会について：

昨日一斉送信しております。  
出欠返信は12/10（金）となっておりますので、宜しくお願ひ致します。

■委員会報告：ロータリー財団委員会：  
平井さん（ポリオ募金）



■親睦委員会報告とニコニコ披露：  
西川さん



ニコニコ 5件 14,000円(累計 467,400円)

前田さん：須齊正幸先生、本日は卓話にお越しいただき、ありがとうございます。おとなり同士ですので、近所でお会いするか、銅座でお会いするかだけでしたが、今月はしっかりと勉強させていただきます。宜しくお願い致します。

吉村さん：コロナが収束に向かい始めたからなのか自分の気が緩みだしたのか…。お酒を飲む機会が増えて先週、今週と酒浸りの毎日。そりゃ～も～毎日楽しかったのですが、身体はそれに順応しきれておらず、昨夜はへとへとでお酒も飲まず熟睡でした。昨夜の休肝日に乾杯！

高濱さん：11月22日は結婚記念日でした。妻に支えてもらって今日に至りました。これからも「いい夫婦」として

歩んでいけるようにしたいと思います。

喜々津さん：お手元の読売新聞のヨミドクラーをご覧ください。マスクは「ひだが下向きになる方が表」です。表にウイルスをためないように使いましょう。表面が平たいものも安全です。

堤さん：先週松谷さんより御紹介頂きました県民表彰は去る11月23日に授与式があったもので、長崎市佛教連合会（宗派を超えての長崎市内寺院の集まり）が数十年に亘り毎年行っている歳末助け合い義捐金の托鉢に対して贈られるものです。つまり、先輩方の積み重ねの賜物で、たまたま今年役付きになった私が受け取ったという事です。


■卓話：紹介 佐々木副会長



長崎大学経済学部 教授 須齊正幸さん



# 「長崎におけるSTEAM教育事業について」



**長崎スタイルのSTEAM教育の挑戦  
- 長崎STEAM教育協議会 -**

須藤正幸  
出島リサーチ&コンサルツ  
長崎大学  
高賢大学

長崎STEAM教育協議会

【目的】 長崎において、産官学の力を結集して、**長崎モデルのSTEAM教育**を実現し、その成果を地域の**児童・生徒に還元し、Society 5.0に向けた人材育成**に寄与するとともに、全国に発信する

**全国に先駆けて、社会の課題解決のために様々な分野の知識をつなげて活用する能力とそれを活かすICT技術を持った教育**

**STEAM教育とは？**  
探究的な学習における児童の姿

新学習指導要領が目指す **新たな学びの充実**  
 ・総合的な探究の時間、課題探究  
 ・プロジェクト学習  
 ・読解、統計、データサイエンス  
 ・応用・実践、テーマスタディ  
 ・GIGAスクール構想（ICT活用、教育DX）

長崎モデルのSTEAM教育の実現  
**産官学による教育を軸としたオープンイノベーション**  
 ・地域の特色を活かした教材開発  
 ・動画、アプリ、副読本を使った授業設計  
 ・教育DXに活用  
 ・ICT活用等の実践支援

ICT活用やプログラミング、データサイエンスの要素を導入し、産官学の資源を最大限に活かして、Society5.0に向けた人材育成を目指す

**長崎STEAM協議会設置の背景と目的**

【背景】  
Society5.0社会の到来を前に、欧米では高い情報リテラシーを有する多くの人材が育成されている。  
日本では、欧米の後塵を拝し、データサイエンス系の学部が設置され、初等中等教育においてはSTEAM教育の重要性が指摘され始めた。現時点ではSTEAM教育の具体的なカリキュラム、教育内容などはほとんど示されていない。

【目的】  
江戸時代、知の発信地として発展した長崎において、長崎発のSTEAM教育を実現する。地域の産官学の知を結集し、長崎スタイルのSTEAM教育を全国に発信する。

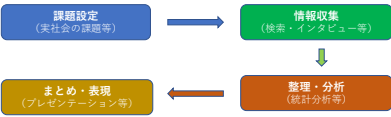
参考1-1  
**STEAM教育とは**

- 2018年に、文部科学省や経済産業省から、STEAM教育の重要性が示されている。
- STEAMは、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）Arts（教養）、Mathematics（数学）の頭文字をとった言葉。
- STEAM教育とは、これらの力を横断的に駆使して、文理の枠を超えて、現在の社会的な課題を見出し、自ら探求し、創造的に解決する資質を持った人材教育
- 理数系中心のように見えるが、要となるのがArts（歴史、文学などを含むリベラルアーツの意味）
- 単なるICT端末の利用の仕方ではなく、社会の課題解決のために様々な分野の知識をつなげて活用する能力の育成が大切

**GIGAスクール構想とSTEAM教育**

一人一台を活用して社会課題の解決に活かす  
「ICTを含む様々なツールを駆使して、各教科等での学びをつなぎ探求するSTEAM教育」

以下に示す探求の様々な局面でICTを効果的に活用できる



参考1-2  
**STEAM教育の広がりとSTEAM教育**

統合型のSTEAM教育  
Science, Technology, Engineering, MathematicsのSTEM分野が横断的に融合する統合型教育の模索。各教科・領域間の横断的な融合を実現して協働する学習者として応用技術者育成を目指す。各教科・領域間の横断的な融合を実現して協働する学習者として応用技術者育成を目指す。各教科・領域間の横断的な融合を実現して協働する学習者として応用技術者育成を目指す。

STEAM教育アーツ、リベラルアーツ、文理の枠を超えた学び  
STEAM教育アーツは、STEAM教育にArtsやデザイン、教養等の要素を加えたものと考えられる。文科系分野では、STEAM教育が学習者を駆動して協働する学習者として応用技術者育成を目指す。各教科・領域間の横断的な融合を実現して協働する学習者として応用技術者育成を目指す。

（新学習指導要領の趣旨の実現とSTEAM教育について 令和元年10月15日 文部科学省）

**なぜ長崎でこのような活動が必要なのか**

江戸時代、世界からの情報の玄関口となっていた長崎  
海外の知の入り口  
国内への発信拠点  
忘れられている長崎の役割を再び担う  
長崎から新しい知性を発信する  
学び舎で醸成された知性を街が育む  
世界の知性が長崎に集い、そこで育まれた知性が街に溢れる

例えば、...  
ライデン市とライデン大学のように街と大学が混然一体となり知性豊かな街を形成している

参考2-2  
**STEAM教育の背景：骨太の方針2021**

人と人との触れ合いも大事にしながら、これらの取組を通じて個人と社会全体のWell-beingの実現を目指す。1人1台端末をフル活用し、データ駆動型の教育への転換を図り、EdTech等も活用しながら、個々の教育的ニーズや理解度に応じた学習、STEAM教育等の教科等横断的な学習などを進め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を早急に実現する。この中で、本年3月に明確化した方針181に基づき、児童生徒等の発達の段階に応じてオンラインを活用して、時間・場所・教材等に制約されない質の高い教育を実現する。

（経済財政運営と改革の基本方針2021、p.19）

EdTech:ICT教育、eラーニング、オンライン授業など、テクノロジーの方で教育にイノベーションを起こす取り組み



**奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために**

2021-22年度国際ロータリー会長  
シエカール・メータ

■ 国際ロータリー第2740地区ガバナー 塚崎 寛  
 ■ 国際ロータリー第2740地区第10グループガバナー補佐 梅本 義信  
 ■ 長崎出島ロータリークラブ 会長：佐伯 秀人 幹事：吉村 尊義

■ 例会日：金曜日（12：30）  
 ■ 例会場：ホテルニュー長崎 Tel.095-826-8000  
 ■ 事務局：〒850-0862 長崎市出島町12-29 夢進ビル2階  
 Tel.095-822-9632 Fax.095-826-4756  
 ■ 創立：1998.9.4 ■ RI加盟認証：1998.9.30  
 e-mail：dejimaro@lime.ocn.ne.jp URL http：//dejimaro.jp/  
 会報委員会：牧 正康、今村 茂雄、松谷 和彦、熊上 富士夫、田村 健一郎、内野 弘樹